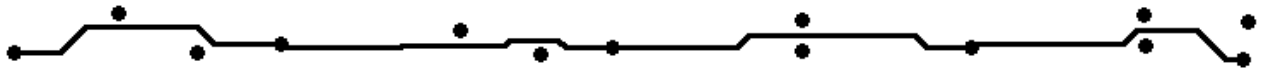


ODB++データを拡張ガーバーデータへ変換



UNICRAFT

© GERBTOOL

GerbTool VisualCAM

ODB++データを拡張ガーバーデータへ変換

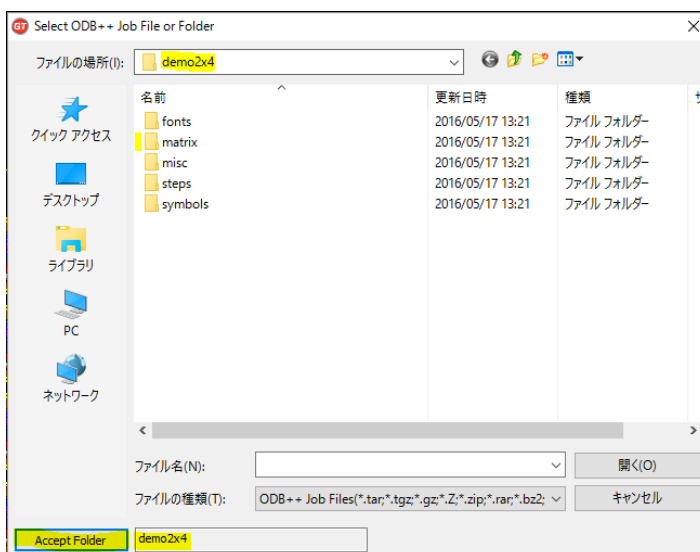
GerbTool または VisualCAM を使用して ODB++データを拡張ガーバーフォーマット(RS-274X)ファイルへ変換する方法です。

1 ODB++データインポート

ODB++ファイルをインポートします。

GerbTool V16.x および Visual CAM では、ODB++ (X) -XML ファイルの対応をしていましたが、開発元である Valor Computerized Systems 社が取扱を中止した為、バージョン 17 以降からは対応されません。

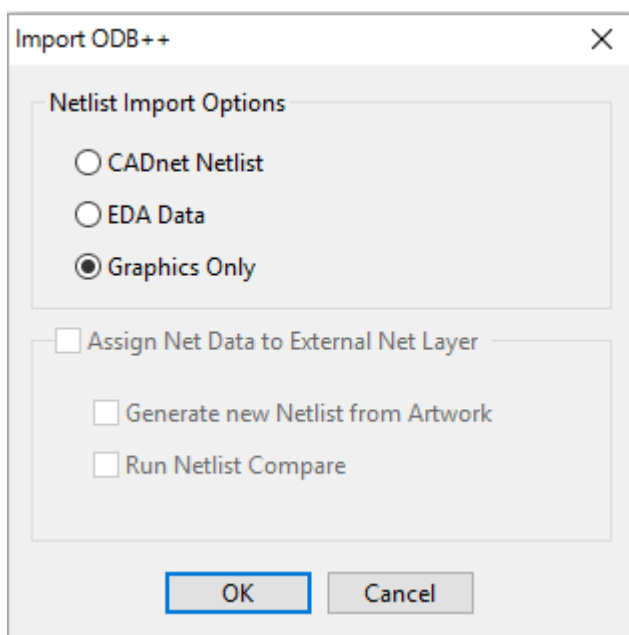
メニューから File/Import/ ODB++を選択し、ODB++ファイルまたはディレクトリを選択します。対応する圧縮形式は、*.tar、*.tgz、*.gz、*.Z、*.zip、.rar、*.bz2、*.bzip2 です。



この例では、ODB++ディレクトリを選択してインポートを行っています。この時「matrix」フォルダがあるディレクトリを選択して下さい。

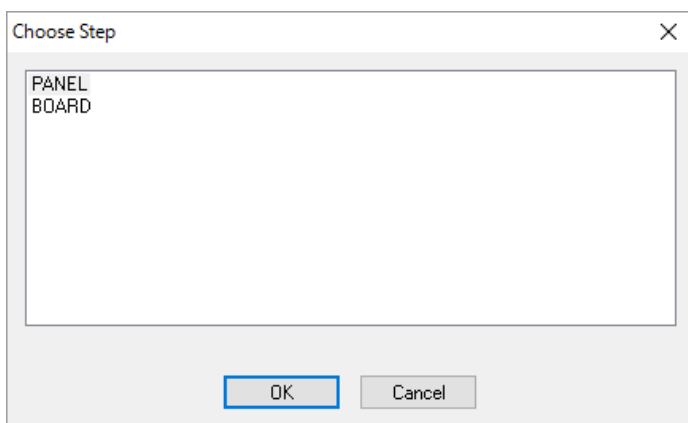
画面下、Accept Folder をクリックします。

ODB++データを拡張ガーバーデータへ変換



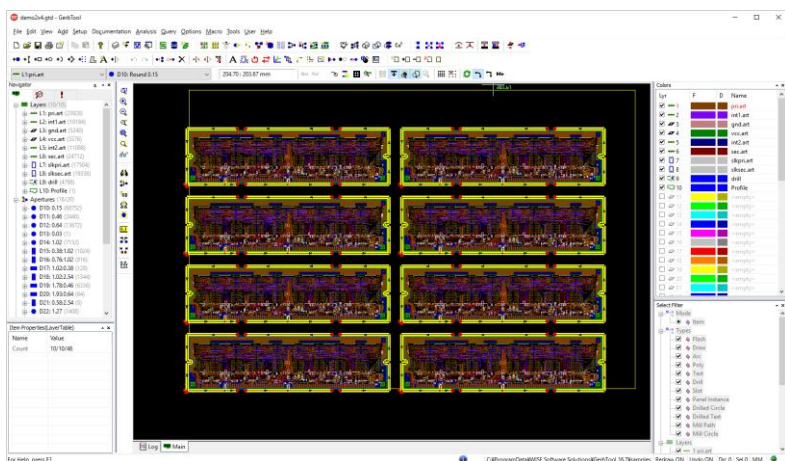
Import ODB++画面にて
Netlist Import Options : Graphics Only を
選択します。

ODB++からガーバーデータへ変換する場
合は、このオプションを選択ください。



インポートするデータを多面取りのままの
場合は「PANEL」、1つのファイルの場合
「BOARD」を選択ください。

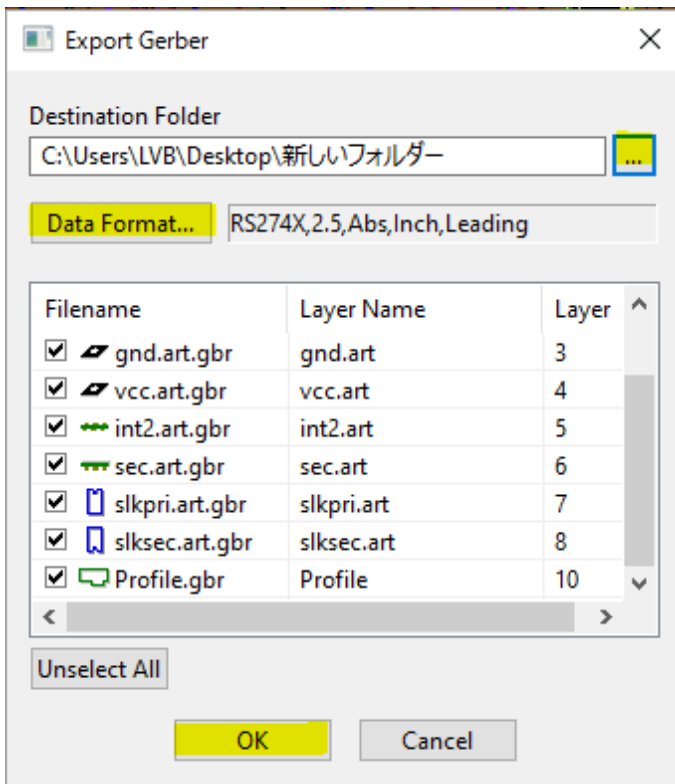
2 Gerber X データ出力



インポート後、編集がない場合はエ
クスポート手順へ進みます。

メニューFile / Export / Gerber
を選択します。

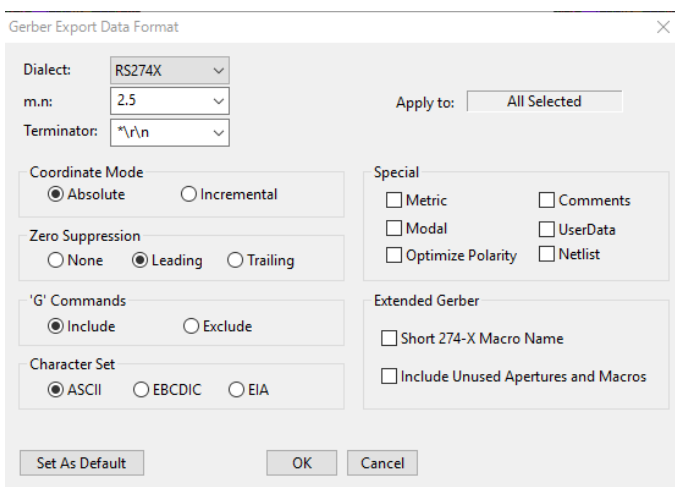
ODB++データを拡張ガーバーデータへ変換



DestinationFolder : 出力先のフォルダ選択
DataFormat : ガーバーフォーマット設定
(下記参照)

出力するレイヤーへチェックを入れます。
FileName は変更が可能です。

『OK』をクリック、エクスポートされます。



ガーバー出力フォーマットについて
Data Format をクリックして設定します。

出力は下記に対応しています。

- ・ガーバーフォーマット : RS274X, RS274-D, FIRE9000
- ・文字コード設定 : ASCII, EBCDIC, EIA